

名古屋市立大学病院より培養表皮の製造を受託 白斑や難治性皮膚潰瘍などに対する培養表皮移植向けに提供

2017 年 7 月 3 日

株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング

富士フイルムグループの株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング(本社:愛知県蒲郡市、代表取締役:比留間愛一郎)は、名古屋市立大学病院より、白斑や難治性皮膚潰瘍などに対する培養表皮移植(再生医療)の臨床研究^{※1}に用いる培養表皮の製造を受託します。本臨床研究は、再生医療等安全性確保法^{※2}のもとで実施されるもので、2017 年 7 月より開始されます。

尚、大学病院が行う臨床研究として、白斑や難治性皮膚潰瘍などに対する培養表皮移植の取り組みは日本初となります。

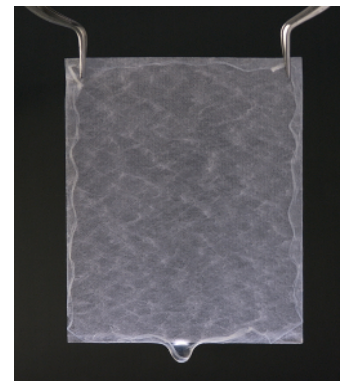
当社は、医薬品医療機器等法^{※3}に基づく再生医療等製品の製造管理及び品質管理の基準(GCTP)を満たす製造設備を持ち、国内初の再生医療等製品である自家培養表皮と、自家培養軟骨を製造販売しています。2015 年 10 月には再生医療等安全性確保法に基づき厚生労働省より「特定細胞加工物製造許可^{※4}」を取得。自社製品の開発・製造・販売で蓄積したノウハウと確立したシステムを活かして、細胞培養の受託事業を展開してきました。

今回、名古屋市立大学病院より、臨床研究に用いる培養表皮の製造を受託することで、細胞培養の受託事業をさらに拡大していきます。

当社は、細胞培養の受託を通じて臨床研究や臨床試験、再生医療等製品の製造をサポートし、患者の生活の質(QOL)の向上へも寄与することを目指します。

【培養表皮の製造受託の流れ】

名古屋市立大学病院にて採取された患者の組織(切手大の皮膚)は、細胞培養加工施設である当社へ輸送されます。当社は、約 4 週間かけて皮膚由来の細胞をシート状に培養し、名古屋市立大学病院へ届けます。



培養表皮



細胞培養加工施設



培養風景

※1 名古屋市立大学病院における白斑や難治性皮膚潰瘍などに対する培養表皮移植(再生医療)の実施については、名古屋市立大学より名古屋教育医療記者会と名古屋市政記者クラブへ発表されています(<http://www.nagoya-cu.ac.jp/>)
詳細は、下記窓口へお問い合わせください。

【治療に関するお問合せ窓口】

名古屋市立大学 医学・病院管理部
担当:教育研究課長 田中 雅隆
電話:052-853-8076

※2 「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」(2014 年 11 月施行)

※3 「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」(2014 年 11 月施行)

※4 再生医療等に用いられる細胞加工物(人又は動物の細胞に培養その他の加工を施したもの)の内、製造販売承認を取得した製品以外のものの受託製造に関する許可。

以上

＜培養受託に関するお問い合わせ先＞
株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング
経営管理本部 総務人事部 TEL 0533-66-2020